

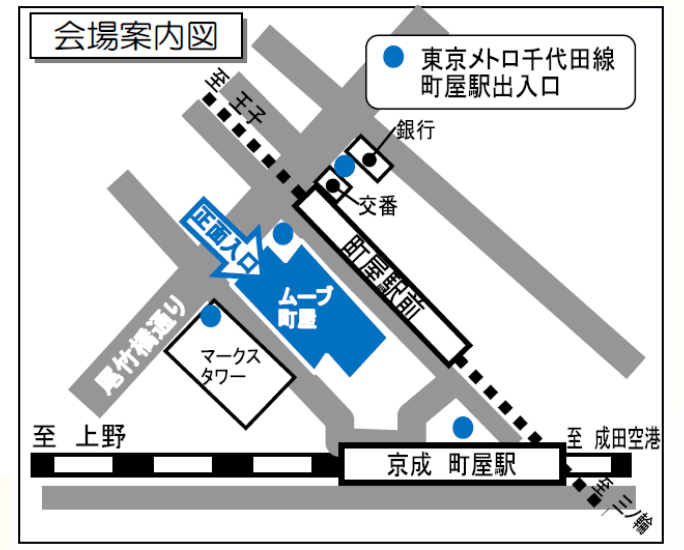
平成30年度 不燃化特区 **住まいの相談会** 開催のお知らせ



皆様の住まいに関するお悩みに役立つ情報をご提供します！

相談は**予約制**となります。事前にご予約ください。
※当日空きがある場合にはご案内できます。

【開催日時】
平成31年3月10日(日)
※受付 午前9時15分から午後3時30分まで
第1部
午前9時30分～正午まで
第2部
午後2時15分～午後4時30分まで
【場所】**ムーブ町屋 4階会議室B**
(荒川七丁目50番9号)
※右地図をご参考ください。



お客様と専門家・区職員が個別にお話しできるよう、お席をご用意しております。

発行：荒川五・六丁目防災まちづくりの会
編集：荒川区防災都市づくり部防災街づくり推進課
(協力：ランドブレイン株式会社)
通巻第69号 平成31年3月

あら、かわいい まちづくり新聞

平成30年度の取り組み報告

「荒川五・六丁目防災まちづくりの会」では防災まちづくりに関する取り組みを行っています。

今年度は、昨年度作成の防災マップに記した「公園・広場及び付帯する防災設備」に着目し、理解を深めることを目標に活動しました。

平成30年度に実施した活動内容は次の通りです。

- 第1回まちづくりの会 (平成30年6月27日) 災害時における公園・広場の設置の意義や役割などについて学びました。
- 第2回まちづくりの会 ～防災設備体験会～ (平成30年10月30日) 花の木防災スポットで実際に防災設備(かまどベンチとマンホールトイレ)を体験してみました。
※花の木防災スポットで行った防災設備体験会についてはP2～P3をご覧ください。
- 第3回まちづくりの会 (平成31年2月12日) 実際に体験してみてわかったことや課題をまとめ、有効に活用していくための検討を行いました。

来年度は、防災まちづくりをテーマにした他地区の興味深い取り組みを研究することとしました。



防災設備体験会について話し合う
荒川五・六丁目防災まちづくりの会

みんなで取り組む防災"も"まちづくり ～木造住宅密集地域におけるこれからの取り組みのポイント～

基調講演
好評につき
第2弾!

定員：先着**60名** 予約不要・参加無料

講師：加藤孝明氏 《東京大学生産技術研究所 准教授 博士(工学)》
近年の東日本大震災などの災害経験を経て、様々な気づきや感じたことをもとに防災意識改革が進められています。今あらためて、今後の密集市街地における防災まちづくりのあり方について考えます。



時間：午後**1時30分～午後3時まで** (※受付 午後1時より)

会場：ムーブ町屋 4階 会議室A

基調講演にご参加いただいた方には「防災グッズ5点セット」(数量限定：先着順)をプレゼント!



前回聴講されて
いない方もお気軽に
ご参加ください!



お問い合わせ先

荒川区 防災都市づくり部 防災街づくり推進課 防災街づくり係 (区役所北庁舎2階⑭窓口)
電話：03-3802-3111 (内線 2828) / FAX：03-3802-4104
担当：古川、松田

防災設備体験会を実施しました…荒川五丁目花の木防災スポットにて

防災スポットに設置された「かまどベンチ」と「マンホールトイレ」について、実際に組み立て・使用してみました。

4月にオープンした
花の木防災
スポットで実施



体験会に集まった
防災まちづくりの会の皆さん

マンホールトイレの体験



①マンホールの蓋を開ける



②テントを組み立てる



③便座を組み立て、マンホールの上に設置する

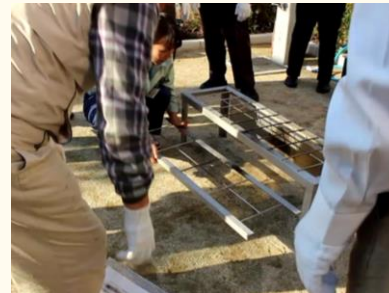
体験してみてわかったこと…

マンホールの蓋開け	ボールでマンホールの蓋を開ける際には力が必要で、それにふさわしい役割の人が要る。				
組み立て	<table border="1"> <tr> <td>テント</td> <td>フレームを組み、その上にテントカバーを被せるときに、カバーの前後左右(荒川区の名前が左右)を間違えないようにすること。</td> </tr> <tr> <td>便座</td> <td>床のシートとなる部分を広げて、上に便座を載せて付属のねじで金具と固定し、受けとなる袋を便座に取り付けるのだが、慣れないと手間がかかる。 人数がいるなら二手に分かれてつくったほうが早くできる。</td> </tr> </table>	テント	フレームを組み、その上にテントカバーを被せるときに、カバーの前後左右(荒川区の名前が左右)を間違えないようにすること。	便座	床のシートとなる部分を広げて、上に便座を載せて付属のねじで金具と固定し、受けとなる袋を便座に取り付けるのだが、慣れないと手間がかかる。 人数がいるなら二手に分かれてつくったほうが早くできる。
テント	フレームを組み、その上にテントカバーを被せるときに、カバーの前後左右(荒川区の名前が左右)を間違えないようにすること。				
便座	床のシートとなる部分を広げて、上に便座を載せて付属のねじで金具と固定し、受けとなる袋を便座に取り付けるのだが、慣れないと手間がかかる。 人数がいるなら二手に分かれてつくったほうが早くできる。				
汚物を流す	できるだけ多く水を溜めてから流した方が汚物が流れやすい。				

かまどベンチの体験



①かまどを取りはずす



②組み立てる



③火をつける



④かまどで鍋の湯を沸かす

体験してみてわかったこと…

かまどの組み立てと配置	<p>組み立ての際に困らないように、日頃から使い方を確認しておくこと。</p> <p>かまどベンチの種類によっては、かまどをベンチから移動し、自由に場所を選んで使用できる。あらかじめかまどベンチの種類の確認しておくが良い。</p>
火おこしと煮炊き	<p>かまどの後側に付帯の防風金物があるが、側方は空いていて隙間風が入るため、風よけ対策を要する。</p> <p>火付け用に新聞紙や割箸を、火力を保つには薪などを使う。新聞紙はねじって使うと良い。</p>



⑤鍋に1/3ぐらいの水(8.5ℓ)が12~3分程度で沸騰した



④便座の上にテントを被せる



⑤ポンプで水を溜める



⑥水溜の蓋を開けて水で汚物を流す

協議会で出た意見

- 体験したかまどベンチとマンホールトイレについては、具体的な取り扱い方法がわかった。
- 一方、設備や備品の管理、実践的な利用法など、地域で解決しなければならない課題も見えてきた。
- 体験については、今後も訓練で繰り返し行うことが必要。

協議会ではこうした体験の結果を整理し、町会に持ち帰ってさらに検討を進めていくことにしました。